

2014年度第3四半期（2014年7月～9月）連結決算短信

会 社 名	アフラック・インコーポレーテッド (Aflac Incorporated)
株式銘柄コード	8686
本店所在地	アメリカ合衆国ジョージア州コロンバス ウイントン・ロード1932
所 属 部	東証第一部
決 算 期	本決算： 年1回（12月） 中間決算： 四半期毎
問 合 せ 先	長島・大野・常松法律事務所（Tel：03-3288-7000） 弁護士 門 田 正 行

1. 本国における決算発表日： 2014年10月28日（火曜日）

2. 業 績

	第3四半期（7月～9月の3ヶ月間）			累計額（1月～9月の9ヶ月間）		
	当期	前年同期	増減率	当期	前年同期	増減率
収益合計	百万ドル 5,736	百万ドル 5,886	% -2.5	百万ドル 17,214	百万ドル 18,138	% -5.1
税引前当期純利益	百万ドル 1,074	百万ドル 1,069	% 0.6	百万ドル 3,416	百万ドル 3,788	% -9.8
当期純利益	百万ドル 706	百万ドル 702	% 0.5	百万ドル 2,248	百万ドル 2,483	% -9.5
基本1株当たり 当期純利益	ドル 1.56	ドル 1.51	% 3.3	ドル 4.96	ドル 5.34	% -7.1
希薄化後1株当たり 当期純利益	ドル 1.56	ドル 1.50	% 4.0	ドル 4.93	ドル 5.31	% -7.2

配当金の推移		
	当年度（2014年度）	前年度（2013年度）
第1四半期	0.37 ドル	0.35 ドル
第2四半期	0.37	0.35
第3四半期	0.37	0.35
第4四半期		0.37
合計	1.11 ドル	1.42 ドル

(注) 原則として各四半期に決定された配当金である。

3. 概況・特記事項・その他

特になし



会社名:アフラック・インコーポレーテッド
株式銘コード:8686
問い合わせ先:アフラック日本社 IR サポート室
村上 一郎 (Tel:03-3344-0481)

Aflac Incorporated は 2014 年度第 3 四半期の業績を発表

2014 年度の 1 株当たり事業利益目標を確認

2015 年度の 1 株当たり事業利益成長目標を提示

2014 年度及び 2015 年度の自己株式取得目標を上方修正

2014 年度第 4 四半期現金配当を 5.4%増額

ジョージア州、コロンバス - 2014 年 10 月 28 日

Aflac Incorporated (以下、「当社」)は本日、2014 年度第 3 四半期の業績を以下のとおり発表しました。

当四半期の収益合計は、円安ドル高を反映して、前年同期の 59 億ドルから 2.5%減少し、57 億ドルとなりました。当期純利益は、前年同期の 7 億 200 万ドル(希薄化後 1 株当たり 1.50ドル)から 7 億 600 万ドル(同 1.56ドル)となりました。

前年同期の当期純利益には 1,500 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.03ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていたのに対し、当四半期の当期純利益には、400 万ドル(同 0.01ドル)の税引後資産運用実現益(実現損とのネット)が含まれていました。当四半期の有価証券取引による税引後資産運用実現益は 2,100 万ドル(希薄化後 1 株当たり 0.05ドル)でした。当四半期の日本社の一部のドル建て投

資に関連するヘッジ費用は、税引後ベースで100万ドルと、希薄化後1株当たりではほぼゼロでした。当四半期のその他のデリバティブ及びヘッジ活動による税引後資産運用実現損(実現益とのネット)は1,600万ドル(希薄化後1株当たり0.04ドル)でした。これらに加えて、当期純利益には、その他及び非経常的損益からの1,700万ドル(希薄化後1株当たり0.04ドル)の益が含まれています。

当社は、当社事業に収益をもたらす諸要素について理解するために、事業利益(米国会計基準GAAP外の指標)の分析が極めて重要であると考えています。事業利益とは、有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じた資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益を除外し、社債等に関連した支払金利を含む、当社事業から得られる利益です。当社のデリバティブ活動は、主として当社の運用ポートフォリオに係る為替リスク及び金利リスクをヘッジすることを目的としたものであるとともに、一部の社債の返済に係る為替リスク及び将来の円建ての予測キャッシュフローに係る為替リスクの一部を管理することを目的としています。有価証券取引、減損、デリバティブ及びヘッジ活動から生じる資産運用実現損益ならびにその他及び非経常的損益は、全般的な経済情勢など外部環境が大きく影響すること、あるいは当社の保険事業に直接関係しない数少ない取引に関連するものであることから、当社保険事業の基盤や傾向を必ずしも正確に反映していないため、当社では、保険事業の財務業績を評価するにあたっては事業利益を用いています。

さらに、アフラックの事業全体に占める日本社の割合が非常に大きいため、日本の機能通貨である円から米ドルへの換算が事業利益に与える影響を理解することも同様に重要であると考えています。当社は、日本社の損益計算書の作成にあたっては、当該期間の平均円/ドル為替レートを、また貸借対照表の作成にあたっては、期末の円/ドル為替レートを、それぞれ使用していますが、利益送金及び日本社のドル建て投資プログラム等を除いて、実際に円貨をドル貨に換金することはありません。したがって、当社は、外貨の換算は、当社や株主に対して実際に経済的な意味を持つものというより、むしろ財務諸表作成の目的に利用するものと考えています。また、為替変動によっては当社事業の成長率が歪められてしまうため、当社は、財務諸表を使って当社事業を評価する場合、為替変動の影響を除外すべきであると考えています。

本リリースの最後に、為替変動の影響を含めた場合とそれを除外した場合の主な業績数値の比較表を、その影響を示すために掲載していますので、ご参照ください。

当四半期の平均円／ドル為替レートは、前年同期の98.93円から4.8%円安ドル高の103.92円となりました。年初来9ヶ月間の平均円／ドル為替レートは、前年同期の96.61円から6.1%円安ドル高の102.89円となりました。当四半期及び年初来9ヶ月間のドルベースの日本社の成長率は、円安ドル高により、圧迫されました。

当四半期の事業利益は、前年同期の6億8,700万ドルから、6億8,500万ドルとなりました。希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の1.47ドルから2.7%増加し、1.51ドルとなりました。為替レートが円安ドル高に推移したことで、当四半期の希薄化後1株当たり事業利益は、0.04ドル減少しました。円安ドル高の影響を除いた希薄化後1株当たり事業利益は、5.4%増加しました。

年初来9ヶ月間の業績も、円安ドル高により圧迫されました。収益合計は前年同期の181億ドルから5.1%減少し172億ドルとなりました。当期純利益は前年同期の25億ドルから22億ドルに、希薄化後1株当たり当期純利益は5.31ドルから4.93ドルとなりました。一方、年初来9ヶ月間の事業利益は、前年同期と同額の22億ドルに、希薄化後1株当たり事業利益は前年同期の4.78ドルから4.86ドルとなりました。円安ドル高による、希薄化後1株当たりのマイナスの影響0.18ドルを除くと、年初来9ヶ月間の希薄化後1株当たり事業利益は5.4%増加しました。

運用資産及び現金・預金合計は、2014年9月30日現在では1,147億ドルとなり、2014年6月30日現在から変動ありません。

当四半期、当社は1億7,500万ドル相当(290万株)の自己株式を取得しました。その結果、年初来9ヶ月間の自己株式の取得は合計で6億9,000万ドル相当(1,110万株)となりました。2014年9月30日現在、当社の自己株式取得承認枠は、3,810万株となっています。

株主持分は、2014年6月30日現在が176億ドル(1株当たり38.76ドル)であったのに対し、2014年9月30日現在では179億ドル(1株当たり39.63ドル)でした。株主持分に含まれる保有有価証券及びデリバティブに係る未実現損益(ネット)は、2014年6月30日現在が29億ドルの益であったのに対して、2014年9月30日現在では34億ドルの益でした。当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で15.9%でした。事業ベース(当期純利益に含まれる資産運用実現損益(ネット)及び株主持分に含まれる運用資産及びデリバティブに係る未実現損益を除く)で見ると、当四半期における平均株主持分に対する利益率は、年率換算で18.8%でした。また、円安ドル高の影響を除くと、20.8%でした。

日本社

当四半期、円ベースで見ると、保険料収入は0.7%減少しました。この減少は、2013年度に実行した再保険による保険料収入減少の影響に加え、2013年度及び本年の販売が弱含みであったことの影響を受けています。再保険による影響を除いた保険料収入は約1%増加していたこととなります。投資収益(ネット)は7.8%増加しました。当四半期の日本社の投資収益の約46%がドル建てであったことから、日本社の円ベースの投資収益の伸びは、円安ドル高の影響によって押し上げられました。前年同期は投資収益の45%がドル建てでした。当四半期の日本社の収益合計は、前年同期に比べて0.6%増加しました。当四半期の税引前事業利益率は、前年同期の19.2%から19.6%へと上昇しました。円ベースの税引前事業利益は報告ベースで2.8%増加しましたが、為替変動の影響を除けば、0.9%の増加でした。一方、年初来9ヶ月間の円ベースの保険料収入は0.1%、投資収益(ネット)は8.2%、収益合計は1.2%、税引前事業利益は3.1%それぞれ増加しました。

当四半期の日本社のドルベースでの成長率は、円安ドル高の影響により、押し下げられました。当四半期の保険料収入は5.4%減少し、35億ドルとなりました。投資収益(ネット)は2.7%増加し、6億7,600万ドルとなりました。収益合計は4.2%減少し、42億ドルに、税引前事業利益は2.1%減少し、8億2,800万ドルとなりました。年初来9ヶ月間の保険料収入は6.0%減少し、107億ドルとなりました。投資収益(ネット)は

1.6%増加し 20 億ドルとなりました。収益合計は 5.0%減少し 127 億ドルに、税引前事業利益は 3.1%減少し、27 億ドルとなりました。

当四半期の新契約年換算保険料は 20.8%減の 256 億円 (2 億 4,700 万ドル) となりました。当四半期のがん保険と医療保険を含む第三分野商品の販売は、12.6%減少しました。主として第一分野商品である「WAYS」の販売が引き続き減少したため、金融機関窓販は 42.7%減少しました。

年初来 9 ヶ月間の新契約年換算保険料は 30.3%減少して 812 億円 (7 億 8,900 万ドル) となりました。第三分野商品の販売は、2.8%減少しました。

米国社

当四半期の米国社の保険料収入は 1.1%増加し、13 億ドルに、投資収益(ネット)は 1.6%増加して 1 億 6,200 万ドルとなりました。収益合計は 1.0%増の 15 億ドルとなりました。税引前事業利益率は、前年同期の 18.5%から 18.4%に低下しました。当四半期の税引前事業利益は 0.3%増の 2 億 6,900 万ドルとなりました。年初来 9 ヶ月間の収益合計は 1.2%増の 44 億ドルに、保険料収入は 1.1%増の 39 億ドルとなりました。投資収益(ネット)は 2.2%増加して 4 億 8,400 万ドルとなりました。税引前事業利益は、前年同期比 4.7%増の 8 億 7,200 万ドルとなりました。

当四半期の米国社の新契約年換算保険料は、0.6%減少し、3 億 2,800 万ドルとなりました。年初来 9 ヶ月間の新契約年換算保険料は 4.5%減少して 9 億 7,900 万ドルとなりました。

現金配当

取締役会は、2014 年度第 4 四半期支払いの現金配当を 5.4%増額し、1株当たり 0.39ドルとしました。この現金配当は、2014 年 11 月 19 日の営業終了時点の登録株主に対し、2014 年 12 月 1 日に支払われます。

今後の見通し

当四半期の業績について、当社会長兼最高経営責任者であるダニエル・P・エイモスは次のように述べています。

「当四半期及び年初来 9 ヶ月間の全般的な財務業績については、喜ばしく思っています。当社において最大の利益貢献をしている日本社は、当四半期、堅調な財務業績を挙げました。当社は当四半期、日本におけるすべての販売チャネルにおいて、「新 生きるためのがん保険 Days」の販売を成功裏に開始しました。さらに、予想通り、郵便局での販売を、徐々にではありますが着実に伸展させています。まだ第4四半期の早い段階ですが、日本郵政による販売は、10月1日に発売した専用のがん保険新商品と、3,000局から10,000局への取扱い郵便局拡大によって、恩恵を受けるものと期待しています。第3四半期においては、予想通り第三分野商品の販売が減少しましたが、日本社の通年の第三分野商品の販売成長率は、前年比2%から7%増の期待値の下限となるものと、引き続き確信しています。」

「財務的な観点からは、米国社も引き続き、当四半期に良好な実績を挙げました。米国社の販売体制の改編が短期的な業績に悪影響を及ぼすことも予想していましたが、当四半期における前年同期比ほぼ横ばいの販売結果は、好転の方向にあることを示しており、喜ばしく思っています。しかし、これが本当の転換点になっているかどうかについては、持続可能な販売成長の確認を待ちたいと思います。そのために当社は、新たなビジネスを成長させるべく、販売チャネル強化のための施策の実行に、引き続き注力して行きます。年初来9ヶ月間の販売実績に基づき、当社は、米国社の通年の販売は、前年比2%減から4%減となるものと見ており、これは第2四半期の公表時に申し上げた見通しよりも好転しています。」

「当社は、ご契約者と社債保有者の皆様のために、強固な自己資本比率を維持することに引き続きコミットしています。米国法定会計基準の財務諸表はまだ完成していませんが、当四半期末の当社のリスク調整後自己資本比率(RBC比率)は775%を超え

ているものと推計しています。また、当四半期末の日本社のソルベンシー・マージン比率については、750%を超えているものと見えています。当社は現在、内部統制のプロセスの完了を条件に、日本から米国への資本の移動の頻度を上げる可能性を探っています。その結果、9月30日現在のソルベンシー・マージン比率の計算には、日本社からの追加の利益送金相当分を反映しています。第3四半期末のソルベンシー・マージン比率見込みが、2014年6月30日現在よりも低くなっているのは、この利益送金相当分によるものです。」

「資本政策の一環として、当社は10月1日に、再保険契約を締結しました。これは、2013年9月に実行した再保険と類似のものです。この取引により、日本社の規制上の準備金は約550億円減少することになります。当社の強固な自己資本は、2014年度における自己株式取得目標を、当初の10億ドル相当から12億ドル相当に引き上げることを確かなものとしています。また、現在の計画では、2015年度に13億ドルの自己株式を取得する予定です。私はまた、取締役会が2014年第4四半期における四半期現金配当を、5.4%増加させる決定をしたことを喜ばしく思います。これにより当社は、現金配当を32年連続で増配することとなります。当社は一般的に、為替変動の影響を除いた事業利益の増加率に合わせて現金配当を増額することを目標としています。」

「従前より申し上げておりますが、当社は第4四半期において、日本社におけるインフラ及び米国社における販売体制の改編に関連する経費増を見込んでいます。これらを総合し、当社は引き続き、為替変動の影響を除く2014年通年の希薄化後1株当たり事業利益が3%から4%の間で増加するものと考えています。もし当社がこれを達成し、本年第4四半期における平均為替レートが1ドル105円から110円の間であった場合、第4四半期の報告ベースの希薄化後1株当たり事業利益は1.28ドルから1.37ドルの間になるものと予想しています。これと同じ前提で、当社は、2014年通年の希薄化後1株当たり事業利益が6.14ドルから6.23ドルの間になるものと予想しています。」

「当社は2015年度の事業及び成長機会を検討し、2015年度の希薄化後1株当たり

事業利益成長率の目標値を、為替変動の影響を除いて、2%から 7%とすることといたします。このレンジは、日米両国における事業の安定性、両国の市場における継続的な販売成長の機会、及び株主の利益となるよう資本を利用できる当社の能力を反映したものです。」

アフラックについて

当社は、ご契約者が病気または怪我をした時に現金を迅速にお支払いします。60 年近くにわたって、当社の商品は、ご契約者が経済的な負担を抱えずに回復に専念する機会を提供してきました。当社は米国では職域における任意加入保険販売 No.1 の会社で、日本では個人保険の保有契約件数で第 1 位の生命保険会社です。当社の個人保険及び団体保険は、世界で 5,000 万人以上の方々に保障を提供し、お役立っていただいています。『Ethisphere』誌は 8 年連続で当社を「世界で最も倫理観の高い企業」の 1 社に選出しています。また、2014 年、『フォーチュン』誌は当社を 16 年連続で「全米で最も働きがいのある企業 100 社」に選出するとともに、13 回目となる「世界で最も賞賛すべき企業」の 1 社にも選出、当社を生命保険及び医療保険分野で第 1 位にランクしました。Aflac Incorporated はフォーチュン 500 社に入っており、ティッカー・シンボル AFL としてニューヨーク証券取引所に上場しています。当社に関するさらに詳しい情報は aflac.com 又は espanol.aflac.com をご覧ください。

当四半期の業績数値の補足資料 (FAB Supplement) は、aflac.com 「Investors」ページから入手可能です。

当社は当四半期業績報告の電話会議の様子を 2014 年 10 月 29 日 (水曜日) 午前 9 時 00 分 (米国東部夏時間) に aflac.com 「Investors」ページ上で公開します。

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
収益合計	5,736	5,886	-2.5%
保険金給付金	3,355	3,485	-3.7%
新契約費及び事業費合計	1,307	1,332	-1.9%
税引前当期純利益	1,074	1,069	0.6%
法人税等	368	367	
当期純利益	706	702	0.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.56	1.51	3.3%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.56	1.50	4.0%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	451,246	464,324	-2.8%
希薄化後	453,981	467,391	-2.9%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	0.37	0.35	5.7%

Aflac Incorporated およびその子会社連結損益計算書(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数および1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
収益合計	17,214	18,138	-5.1%
保険金給付金	9,868	10,417	-5.3%
新契約費及び事業費合計	3,930	3,933	-0.1%
税引前当期純利益	3,416	3,788	-9.8%
法人税等	1,168	1,305	
当期純利益	2,248	2,483	-9.5%
基本1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.96	5.34	-7.1%
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.93	5.31	-7.2%
1株当たり当期純利益計算に用いた普通株式数(単位:千株)			
基本	452,833	465,325	-2.7%
希薄化後	455,674	468,052	-2.6%
1株当たり現金配当(単位:ドル)	1.11	1.05	5.7%

Aflac Incorporated およびその子会社連結貸借対照表(抜粋)

(単位:百万ドル。ただし、株式数を除く—無監査)

9月30日現在:

	2014年	2013年	増減率
資産:			
運用資産および現金・預金	114,691	106,712	7.5%
繰延新契約費	8,713	9,173	-5.0%
その他の資産	3,849	4,033	-4.6%
資産合計	127,253	119,918	6.1%
負債および株主持分:			
保険契約準備金	90,200	93,937	-4.0%
社債等	4,558	4,953	-8.0%
その他の負債	14,642	6,370	129.9%
株主持分	17,853	14,658	21.8%
負債および株主持分合計	127,253	119,918	6.1%
期末発行済普通株式数(単位:千株)	450,499	465,710	-3.3%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した3ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
事業利益	685	687	-0.5%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	21	41	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-1	-4	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-16	-22	
その他及び非経常的(損)益	17	-	
当期純利益	706	702	0.5%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	1.51	1.47	2.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.05	0.09	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-	-0.01	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.04	-0.05	
その他及び非経常的(損)益	0.04	-	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	1.56	1.50	4.0%

事業利益と当期純利益の調整

(単位:百万ドル。ただし、1株当たりの数字を除く—無監査)

9月30日に終了した9ヶ月間:

	2014年	2013年	増減率
事業利益	2,216	2,236	-0.9%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	91	138	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-23	-12	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-40	121	
その他及び非経常的(損)益	4	-	
当期純利益	2,248	2,483	-9.5%
希薄化後1株当たり事業利益(単位:ドル)	4.86	4.78	1.7%
調整項目(税引後):			
資産運用実現(損)益:			
有価証券取引および減損	0.20	0.30	
外貨建投資に関連するヘッジ費用	-0.05	-0.03	
その他のデリバティブおよびヘッジ活動の影響	-0.09	0.26	
その他及び非経常的(損)益	0.01	-	
希薄化後1株当たり当期純利益(単位:ドル)	4.93	5.31	-7.2%

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2014年9月30日に終了した3ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	-3.7%	-%
投資収益(ネット)	2.4%	4.7%
保険金給付金および事業費合計	-3.2%	0.5%
事業利益	-0.5%	2.2%
希薄化後1株当たり事業利益	2.7%	5.4%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

為替変動の業績への影響¹
(主要項目の前年同期比増減率—無監査)

2014年9月30日に終了した9ヶ月間:

	為替変動の 影響を含む	為替変動の 影響を除く²
保険料収入	-4.2%	0.4%
投資収益(ネット)	1.8%	4.7%
保険金給付金および事業費合計	-3.9%	0.7%
事業利益	-0.9%	2.7%
希薄化後1株当たり事業利益	1.7%	5.4%

¹数値は本リリースにおいて定義した事業利益ベースで表示している。

²為替変動の影響を除外した数値は、前年同期と同様の円/ドル為替レートを用いて算出した。

2014年度1株当たり事業利益予想

<u>円/ドル平均為替レート</u>	<u>1株当たり年間事業利益</u>	<u>対2013年度増加率</u>	<u>為替の影響</u>
95	\$6.40 - \$6.58	3.6% - 6.5%	\$ 0.09
97.54*	\$6.31 - \$6.49	2.1% - 5.0%	\$ -
100	\$6.22 - \$6.40	0.6% - 3.6%	\$ -0.09
105	\$6.06 - \$6.24	-1.9% - 1.0%	\$ -0.25
110	\$5.91 - \$6.09	-4.4% - -1.5%	\$ -0.40

*実際の2013年度の年間加重平均為替レート

予測情報について

1995年の私的証券訴訟改革法は、企業に対して、いわゆる「安全港」の規定を設けています。規定によれば、その記述が将来予測に関する記述（forward-looking statement）として特定され、将来予測に関する記述に含まれる内容と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した有意義な警告を伴うならば、自社の見通しに関する情報を積極的に提供しよう奨励しています。当社は、この規定を活用したいと考えています。本書には、将来の見通しと大きく異なる結果を引き起こす可能性がある重要な要素を記した警告を記載しています。こうした将来の見通しは、本書の中、あるいはアナリストと当社役員との議論、米国証券取引委員会（SEC）に提出された文書の記述に含まれています。

将来予測に関する記述は、過去の情報に基づくものではなく、将来の事業、戦略、財務業績及びその他の進展事項に関するものです。更に、将来予測に関する情報は、さまざまな仮定や、リスク、不確定要素から影響を受けます。特に、「予想する」「予測する」「確信している」「目標」「目的」「可能性がある」「すべきである」「推定する」「意図する」「見積もる」「するつもりである」「仮定する」「潜在的」「対象」、あるいはその他の類似した言葉を含む記述、また将来の結果についての特定の予測は一般に将来予測に関する記述です。当社は、将来予測に関する記述について、最新情報を提供する義務を負いません。

当社が時々言及している事項のほかに、将来予測に関する記述と大きく異なる結果を引き起こす可能性がある事項は以下のとおりです。

- ・世界資本市場及び経済の困難な状況
- ・金融市場の安定化を目指す政府の行動
- ・当社の投資先の債務不履行及び格付けの引き下げ
- ・金融機関の減損
- ・当社保有の永久証券に関連する信用及びその他のリスク
- ・運用資産の評価に適用される判断
- ・運用資産に係る減損金額の決定における重要な評価判断
- ・当社の条件に合致する円建て有価証券の限られた入手可能性
- ・特定の単一の発行体又はセクターに対する運用資産の集中
- ・日本に対する事業の集中
- ・デリバティブ活動の増加
- ・保険業界における継続的な変化
- ・重要な金融及び資本市場リスクに対するエクスポージャー
- ・為替相場の変動
- ・運用利回りの大幅な変動
- ・保険料率の設定や責任準備金の算定に用いる仮定及び実績の乖離

- ・ 子会社が当社に配当金を支払う能力
- ・ 法律及び政府当局による規制の変化
- ・ 優秀な募集人及び社員を引きつけ、維持する能力
- ・ 当社の財務力及び発行体格付けの引き下げ
- ・ 情報システムの開発・改善を継続する能力
- ・ 電気通信、情報技術及びその他の業務システムにおける障害、あるいはそのようなシステムに収録されているセンシティブなデータに関する安全性、機密性又はプライバシーの維持の失敗
- ・ 米国及び（又は）日本の会計基準の変更
- ・ 患者のプライバシー及び情報セキュリティに対する制約の不順守
- ・ 訴訟の内容及び結果
- ・ 主要な経営陣メンバーの後継者を効果的に選出する能力
- ・ 伝染病、パンデミック、竜巻、ハリケーン、地震、津波、テロ行為を含む大惨事及びそれに付随して起こる被害
- ・ 内部統制やコーポレート・ガバナンスのポリシー及び手続きの失敗



FOR IMMEDIATE RELEASE

**Aflac Incorporated Announces Third Quarter Results,
Affirms 2014 Operating EPS Objective,
Establishes 2015 Operating EPS Growth Objective,
Increases 2014 and 2015 Share Repurchase Targets,
Increases Fourth Quarter Cash Dividend 5.4%**

COLUMBUS, Ga. – October 28, 2014 – Aflac Incorporated today reported its third quarter results.

Reflecting the weaker yen/dollar exchange rate, total revenues fell 2.5% to \$5.7 billion during the third quarter of 2014, compared with \$5.9 billion in the third quarter of 2013. Net earnings were \$706 million, or \$1.56 per diluted share, compared with \$702 million, or \$1.50 per share, a year ago.

Net earnings in the third quarter of 2014 included after-tax net realized investment gains of \$4 million, or \$.01 per diluted share, compared with net after-tax gains of \$15 million, or \$.03 per diluted share, a year ago. After-tax realized investment gains from securities transactions in the quarter were \$21 million, or \$.05 per diluted share. Hedging costs related to certain dollar investments of Aflac Japan on an after-tax basis, were \$1 million in the quarter, or nil per diluted share. Realized after-tax net investment losses from other derivative and hedging activities in the quarter were \$16 million, or \$.04 per diluted share. In addition, net earnings included a gain of \$17 million, or \$.04 per diluted share, from other and nonrecurring items.

Aflac believes that an analysis of operating earnings, a non-GAAP financial measure, is vitally important to an understanding of the company's underlying profitability drivers. Aflac defines operating earnings as the profits derived from operations, inclusive of interest cash flows associated with notes payable, but before realized investment gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items. Aflac's derivative activities are primarily used to hedge foreign exchange and interest rate risk in our investment portfolio as well as manage foreign exchange risk in certain notes payable and forecasted cash flows denominated in yen. Management uses operating earnings to evaluate the financial performance of Aflac's insurance operations because realized gains and losses from securities transactions, impairments, and derivative and hedging activities, as well as other and nonrecurring items, tend to be driven by general economic conditions and events or related to infrequent activities not directly associated with the company's insurance operations, and therefore may obscure the underlying fundamentals and trends in Aflac's insurance operations.

Furthermore, because a significant portion of Aflac's business is in Japan, where the functional currency is the yen, the company believes it is equally important to understand the impact on operating earnings from translating yen into dollars. Aflac Japan's yen-denominated income statement is translated from yen into dollars using an average exchange rate for the reporting period, and the balance sheet is translated using the exchange rate at the end of the period. However, except for certain transactions such as profit repatriation and the Aflac Japan dollar investment program, the company does not actually convert yen into dollars. As a result, Aflac views foreign currency translation as a financial reporting issue rather than an economic event for the company or its shareholders. Because changes in exchange rates distort the growth rates of operations, readers of Aflac's financial statements are also encouraged to evaluate financial performance excluding the impact of foreign currency translation. The chart toward the end of this release presents a comparison of selected income statement items with and without foreign currency changes to illustrate the effect of currency.

The average yen/dollar exchange rate in the third quarter of 2014 was 103.92, or 4.8% weaker than the average rate of 98.93 in the third quarter of 2013. For the first nine months, the average exchange rate was 102.89, or 6.1% weaker than the rate of 96.61 a year ago. Aflac Japan's growth rates in dollar terms

for the third quarter and first nine months were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate.

Operating earnings in the third quarter were \$685 million, compared with \$687 million in the third quarter of 2013. Operating earnings per diluted share increased by 2.7% to \$1.51 in the quarter, compared with \$1.47 a year ago. The weaker yen/dollar exchange rate decreased operating earnings per diluted share by \$.04 for the third quarter. Excluding the impact from the weaker yen, operating earnings per diluted share increased 5.4%.

Results for the first nine months of 2014 were also suppressed by the weaker yen. Total revenues were down 5.1% to \$17.2 billion, compared with \$18.1 billion in the first nine months of 2013. Net earnings were \$2.2 billion, or \$4.93 per diluted share, compared with \$2.5 billion, or \$5.31 per diluted share, for the first nine months of 2013. Operating earnings for the first nine months of 2014 were \$2.2 billion, or \$4.86 per diluted share, compared with \$2.2 billion, or \$4.78 per diluted share, in 2013. Excluding the negative impact of \$.18 per share from the weaker yen, operating earnings per diluted share rose 5.4% for the first nine months of 2014.

Total investments and cash at the end of September 2014 were \$114.7 billion, unchanged from June 30, 2014.

In the third quarter, Aflac repurchased \$175 million, or 2.9 million shares, of its common stock. For the first nine months of the year, the company purchased \$690 million, or 11.1 million of its shares. At the end of September, the company had 38.1 million shares available for purchase under its share repurchase authorizations.

Shareholders' equity was \$17.9 billion, or \$39.63 per share, at September 30, 2014, compared with \$17.6 billion, or \$38.76 per share, at June 30, 2014. Shareholders' equity at the end of the third quarter included a net unrealized gain on investment securities and derivatives of \$3.4 billion, compared with a net unrealized gain of \$2.9 billion at the end of June 2014. The annualized return on average shareholders' equity in the third quarter was 15.9%. On an operating basis (excluding total net realized investment gains/losses in net earnings, unrealized investment gains/losses, and derivative gains/losses in shareholders' equity), the annualized return on average shareholders' equity was 18.8% for the third quarter of 2014, or 20.8%, excluding the impact of the yen.

AFLAC JAPAN

In yen terms, Aflac Japan's premium income fell .7% in the third quarter. The decline in premium income has been influenced by the impact of weak sales this year and in 2013 in addition to premiums ceded in the 2013 reinsurance transaction. Excluding the impact of the reinsurance transaction, premium income would have been up approximately 1%. Net investment income increased 7.8%. Investment income growth was magnified by the weaker yen/dollar exchange rate because approximately 46% of Aflac Japan's third quarter investment income was dollar-denominated, compared with 45% a year ago. Total revenues were up .6% in the third quarter. The pretax operating profit margin increased in the third quarter to 19.6% from 19.2% in the prior year. Pretax operating earnings in yen increased 2.8% on a reported basis and .9% on a currency-neutral basis. For the first nine months of the year, premium income in yen increased .1%, and net investment income rose 8.2%. Total revenues in yen were up 1.2%, and pretax operating earnings grew 3.1%.

Aflac Japan's growth rates in dollar terms for the third quarter were suppressed as a result of the weaker yen/dollar exchange rate. Premium income decreased 5.4% to \$3.5 billion in the third quarter. Net investment income was up 2.7% to \$676 million. Total revenues decreased 4.2% to \$4.2 billion. Pretax operating earnings declined 2.1% to \$828 million. For the first nine months, premium income was \$10.7 billion, or 6.0% lower than a year ago. Net investment income increased 1.6% to \$2.0 billion. Total revenues were down 5.0% to \$12.7 billion. Pretax operating earnings were \$2.7 billion, or 3.1% lower than a year ago.

In the third quarter, total new annualized premium sales fell 20.8% to ¥25.6 billion, or \$247 million. Third sector sales, which include cancer and medical products, decreased 12.6% in the quarter. Bank channel

sales declined 42.7%, primarily reflecting continued declines in sales of the company's first sector WAYS product.

For the first nine months of the year, new annualized premium sales were down 30.3% to ¥81.2 billion, or \$789 million. Third sector sales decreased 2.8% in the first nine months of the year.

AFLAC U.S.

Aflac U.S. premium income increased 1.1% to \$1.3 billion in the third quarter. Net investment income was up 1.6% to \$162 million. Total revenues increased 1.0% to \$1.5 billion. The pretax operating profit margin decreased to 18.4% from 18.5% a year ago. Pretax operating earnings were \$269 million, an increase of .3% for the quarter. For the first nine months, total revenues were up 1.2% to \$4.4 billion and premium income rose 1.1% to \$3.9 billion. Net investment income increased 2.2% to \$484 million. Pretax operating earnings were \$872 million, 4.7% higher than a year ago.

Aflac U.S. total new annualized premium sales decreased .6% in the quarter to \$328 million. For the first nine months of the year, total new sales declined 4.5% to \$979 million.

DIVIDEND

The board of directors announced a 5.4% increase in the fourth quarter cash dividend. The fourth quarter dividend of \$.39 per share is payable on December 1, 2014, to shareholders of record at the close of business on November 19, 2014.

OUTLOOK

Commenting on the company's third quarter results, Chairman and Chief Executive Officer Daniel P. Amos stated: "We are pleased with our overall financial results in the third quarter of 2014 and for the first nine months of the year. Aflac Japan, our largest earnings contributor, generated strong financial results for the quarter. During the quarter, we successfully launched our "New Cancer DAYS" product available for sale through all distribution channels in Japan. Additionally, as expected, we are continuing to make gradual but steady progress selling through postal outlets. While it's early in the fourth quarter, we anticipate our sales through Japan Post will benefit from the October 1 introduction of our exclusive new cancer product as well as the expansion of locations selling our cancer product from 3,000 postal outlets to 10,000. Although third sector sales this quarter were down as we anticipated, we continue to believe full year sales for third sector products will come in at the low end of our expectation of a 2% to 7% increase.

"From a financial perspective, Aflac U.S. also continued to perform well in the third quarter. While we expected that changes made to our sales organization could have resulted in short-term disruption, we were instead pleased to see an improved trajectory of U.S. sales, which were essentially flat in the quarter. However, we want to see sustained sales growth before we view this as a turnaround. To that end, we continue to work on initiatives designed to empower our sales channels to grow our new business. Given sales production in the first nine months of the year, we now expect sales for the full year will likely be down 2% to down 4%, which is an improved outlook since the release of our second quarter results.

"We remain committed to maintaining strong capital ratios on behalf of our policyholders and bondholders. Although we have not yet finalized our statutory financial statements, we estimate our third quarter 2014 risk-based capital, or RBC ratio, will exceed 775%. Additionally, we expect that Aflac Japan's estimated third quarter solvency margin ratio, or SMR, will be above 750%. We are currently exploring the possibility of increasing the frequency of capital transfers from Japan to the United States pending completion of our internal governance process. As a result, we have increased the provision for capital repatriation reflected in our estimated September 30 SMR. It is this increased provision that resulted in a lower estimated SMR at the end of the third quarter compared with our ratio at June 30, 2014.

"As part of our capital strategy, we entered into a reinsurance agreement on October 1, which was similar to the transaction we executed in September 2013. This transaction will release approximately ¥55 billion of Aflac Japan's regulatory reserves. Our capital strength gives us the confidence to increase our 2014 share repurchase objective from \$1 billion to \$1.2 billion of our common stock. In addition, it is our current plan to repurchase \$1.3 billion of our common stock in 2015. I am also pleased with the action by the board of directors to increase the quarterly cash dividend by 5.4%, effective with the fourth quarter of 2014. This marks the 32nd consecutive year of increasing our cash dividend. Our objective is to grow the dividend at a rate generally in line with the increase in operating earnings before the impact of foreign currency translation.

"As we've previously stated, we anticipate increased spending in the fourth quarter related to our infrastructure in Japan and our sales force repositioning in the United States. Taking these factors into account, we continue to expect operating earnings per diluted share will increase 3% to 4% for 2014, excluding the impact of the yen. If we achieve that rate of growth and the yen averages 105 to 110 for the last three months of the year, we would expect reported operating earnings for the fourth quarter to be in the range of \$1.28 to \$1.37 per diluted share. Under that same scenario, we would expect full year operating earnings of \$6.14 to \$6.23 per diluted share.

"After assessing our business and opportunities for growth in 2015, we're establishing an objective of increasing operating earnings per diluted share 2% to 7% on a currency neutral basis. This range reflects the stability of our businesses in the United States and Japan, the continued opportunities we see for sales growth in both markets and our ability to deploy capital for the benefit of our shareholders."

ABOUT AFLAC

When a policyholder gets sick or hurt, Aflac pays cash benefits fast. For nearly six decades, Aflac insurance policies have given policyholders the opportunity to focus on recovery, not financial stress. In the United States, Aflac is the leading provider of voluntary insurance at the worksite. In Japan, Aflac is the number one life insurance company in terms of individual policies in force. Aflac individual and group insurance products help provide protection to more than 50 million people worldwide. For eight consecutive years, Aflac has been recognized by Ethisphere magazine as one of the World's Most Ethical Companies. In 2014, FORTUNE magazine recognized Aflac as one of the 100 Best Companies to Work For in America for the 16th consecutive year. Also, in 2014, FORTUNE magazine included Aflac on its list of Most Admired Companies for the 13th time, ranking the company number one in the life and health insurance category. Aflac Incorporated is a FORTUNE 500 company listed on the New York Stock Exchange under the symbol AFL. To find out more about Aflac, visit aflac.com or espanol.aflac.com.

A copy of Aflac's Financial Analysts Briefing (FAB) supplement for the quarter can be found on the "Investors" page at aflac.com.

Aflac Incorporated will webcast its quarterly conference call via the "Investors" page of aflac.com at 9:00 a.m. (EDT) on Wednesday, October 29, 2014.

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 5,736	\$ 5,886	(2.5)%
Benefits and claims	3,355	3,485	(3.7)
Total acquisition and operating expenses	1,307	1,332	(1.9)
Earnings before income taxes	1,074	1,069	.6
Income taxes	368	367	
Net earnings	\$ 706	\$ 702	.5%
Net earnings per share – basic	\$ 1.56	\$ 1.51	3.3%
Net earnings per share – diluted	1.56	1.50	4.0
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	451,246	464,324	(2.8)%
Diluted	453,981	467,391	(2.9)
Dividends paid per share	\$.37	\$.35	5.7 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED INCOME STATEMENT

(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AND PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Total revenues	\$ 17,214	\$ 18,138	(5.1)%
Benefits and claims	9,868	10,417	(5.3)
Total acquisition and operating expenses	3,930	3,933	(.1)
Earnings before income taxes	3,416	3,788	(9.8)
Income taxes	1,168	1,305	
Net earnings	\$ 2,248	\$ 2,483	(9.5)%
Net earnings per share – basic	\$ 4.96	\$ 5.34	(7.1)%
Net earnings per share – diluted	4.93	5.31	(7.2)
Shares used to compute earnings per share (000):			
Basic	452,833	465,325	(2.7)%
Diluted	455,674	468,052	(2.6)
Dividends paid per share	\$ 1.11	\$ 1.05	5.7 %

AFLAC INCORPORATED AND SUBSIDIARIES CONDENSED BALANCE SHEET
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR SHARE AMOUNTS)

SEPTEMBER 30,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Assets:			
Total investments and cash	\$114,691	\$ 106,712	7.5%
Deferred policy acquisition costs	8,713	9,173	(5.0)
Other assets	3,849	4,033	(4.6)
Total assets	\$127,253	\$ 119,918	6.1%
Liabilities and shareholders' equity:			
Policy liabilities	\$ 90,200	\$ 93,937	(4.0)%
Notes payable	4,558	4,953	(8.0)
Other liabilities	14,642	6,370	129.9
Shareholders' equity	17,853	14,658	21.8
Total liabilities and shareholders' equity	\$127,253	\$ 119,918	6.1%
Shares outstanding at end of period (000)	450,499	465,710	(3.3)%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 685	\$ 687	(.5)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	21	41	
Hedge costs related to foreign currency investments	(1)	(4)	
Impact of other derivative/hedging activities	(16)	(22)	
Other and non-recurring income (loss)	17	–	
Net earnings	\$ 706	\$ 702	.5%
Operating earnings per diluted share	\$ 1.51	\$ 1.47	2.7%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.05	.09	
Hedge costs related to foreign currency investments	–	(.01)	
Impact of other derivative/hedging activities	(.04)	(.05)	
Other and non-recurring income (loss)	.04	–	
Net earnings per diluted share	\$ 1.56	\$ 1.50	4.0%

RECONCILIATION OF OPERATING EARNINGS TO NET EARNINGS
(UNAUDITED – IN MILLIONS, EXCEPT FOR PER-SHARE AMOUNTS)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30,	<u>2014</u>	<u>2013</u>	<u>% Change</u>
Operating earnings	\$ 2,216	\$ 2,236	(.9)%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	91	138	
Hedge costs related to foreign currency investments	(23)	(12)	
Impact of other derivative/hedging activities	(40)	121	
Other and non-recurring income (loss)	4	–	
Net earnings	\$ 2,248	\$ 2,483	(9.5)%
Operating earnings per diluted share	\$ 4.86	\$ 4.78	1.7%
Reconciling items, net of tax:			
Realized investment gains (losses):			
Securities transactions and impairments	.20	.30	
Hedge costs related to foreign currency investments	(.05)	(.03)	
Impact of other derivative/hedging activities	(.09)	.26	
Other and non-recurring income (loss)	.01	–	
Net earnings per diluted share	\$ 4.93	\$ 5.31	(7.2)%

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

THREE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2014	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(3.7)%	-%
Net investment income	2.4	4.7
Total benefits and expenses	(3.2)	.5
Operating earnings	(.5)	2.2
Operating earnings per diluted share	2.7	5.4

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

EFFECT OF FOREIGN CURRENCY ON OPERATING RESULTS¹
(SELECTED PERCENTAGE CHANGES, UNAUDITED)

NINE MONTHS ENDED SEPTEMBER 30, 2014	<u>Including Currency Changes</u>	<u>Excluding Currency Changes</u> ²
Premium income	(4.2)%	.4%
Net investment income	1.8	4.7
Total benefits and expenses	(3.9)	.7
Operating earnings	(.9)	2.7
Operating earnings per diluted share	1.7	5.4

¹ The numbers in this table are presented on an operating basis, as previously described.

² Amounts excluding currency changes were determined using the same yen/dollar exchange rate for the current period as the comparable period in the prior year.

2014 OPERATING EARNINGS PER SHARE SCENARIOS

<u>Average Exchange Rate</u>	<u>Annual Operating EPS</u>	<u>% Growth Over 2013</u>	<u>Yen Impact</u>
95	\$ 6.40 - 6.58	3.6 - 6.5%	\$.09
97.54*	6.31 - 6.49	2.1 - 5.0	-
100	6.22 - 6.40	.6 - 3.6	(.09)
105	6.06 - 6.24	(1.9) - 1.0	(.25)
110	5.91 - 6.09	(4.4) - (1.5)	(.40)

*Actual 2013 weighted-average exchange rate

FORWARD-LOOKING INFORMATION

The Private Securities Litigation Reform Act of 1995 provides a "safe harbor" to encourage companies to provide prospective information, so long as those informational statements are identified as forward-looking and are accompanied by meaningful cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those included in the forward-looking statements. We desire to take advantage of these provisions. This document contains cautionary statements identifying important factors that could cause actual results to differ materially from those projected herein, and in any other statements made by company officials in communications with the financial community and contained in documents filed with the Securities and Exchange Commission (SEC).

Forward-looking statements are not based on historical information and relate to future operations, strategies, financial results or other developments. Furthermore, forward-looking information is subject to numerous assumptions, risks and uncertainties. In particular, statements containing words such as "expect," "anticipate," "believe," "goal," "objective," "may," "should," "estimate," "intends," "projects," "will," "assumes," "potential," "target" or similar words as well as specific projections of future results, generally qualify as forward-looking. Aflac undertakes no obligation to update such forward-looking statements. We caution readers that the following factors, in addition to other factors mentioned from time to time, could cause actual results to differ materially from those contemplated by the forward-looking statements: difficult conditions in global capital markets and the economy; governmental actions for the purpose of stabilizing the financial markets; defaults and credit downgrades of securities in our investment portfolio; exposure to significant financial and capital markets risk; fluctuations in foreign currency exchange rates; significant changes in investment yield rates; credit and other risks associated with Aflac's investment in perpetual securities; differing judgments applied to investment valuations; significant valuation judgments in determination of amount of impairments taken on our investments; limited availability of acceptable yen-denominated investments; concentration of our investments in any particular single-issuer or sector concentration of business in Japan; decline in creditworthiness of other financial institutions; deviations in actual experience from pricing and reserving assumptions; subsidiaries' ability to pay dividends to Aflac Incorporated; changes in law or regulation by governmental authorities; ability to attract and retain qualified sales associates and employees; decreases in our financial strength or debt ratings; ability to continue to develop and implement improvements in information technology systems; interruption in telecommunication, information technology and other operational systems, or a failure to maintain the security, confidentiality or privacy of sensitive data residing on such systems; changes in U.S. and/or Japanese accounting standards; failure to comply with restrictions on patient privacy and information security; inability to recognize tax benefits associated with capital loss carryforwards; level and outcome of litigation; ability to effectively manage key executive succession; catastrophic events including, but not necessarily limited to, epidemics, pandemics, tornadoes, hurricanes, earthquakes, tsunamis, acts of terrorism and damage incidental to such events; ongoing changes in our industry; events that damage our reputation; and failure of internal controls or corporate governance policies and procedures.

Analyst and investor contact – Robin Y. Wilkey, 706.596.3264 or 800.235.2667; FAX: 706.324.6330 or rwilkey@aflac.com
Media contact – Catherine Blades, 706.596.3014; FAX: 706.320.2288 or cblades@aflac.com

###